



『大相撲横綱 白鵬翔関が霧島市を訪問！！』

大相撲の横綱白鵬翔関は、霧島を「日本のふるさと」として、2005年から毎年霧島市を訪れております。そのような縁で2009年12月「おじゃんせ霧島大使」に任命され、霧島市の魅力などをPRして頂いております。この度、白鵬関が霧島市役所を訪れ、霧島市長から「霧島の特産品を食べて飲んで元気に活躍してください。」と「関平鉱泉水」や「霧島ロイヤルホーク黒豚」・「霧島熟成黒にんにく」をプレゼントされました。

12月の定休日は**3日(火)**と**17日(火)**です。

霧島の歳時記

いよいよ12月。寒さも本格的になってきました。今年も霧島神宮で、元日の恒例行事「天孫降臨霧島九面太鼓」の奉納が、霧島神宮社務所前で行われます。白や薄紫の衣装に身をまとい、九面を被って高天原から降りて来た神々に扮し、太鼓やホウを演奏します。幻想的な雰囲気の中、天にも届けと打ち鳴らされる勇壮な太鼓が人々を魅了します。



【天孫降臨九面太鼓】

▲ 力強い太鼓のリズムが新年の夜空に響き渡り、なんとも神聖な気持ちにさせてくれます。

【天孫降臨霧島九面太鼓元旦奉納】

- ◆場所：霧島神宮
- ◆日時：元旦午前0時と午前2時
- ◆入場料：無料
- ◆お問い合わせ：霧島神宮
- ◆TEL：0995-57-0001

※ とても寒いので防寒着は必須！

ところで、九面とは・・・。

今から300年位前、霧島神宮に祈願するために奉納された九つの面です。主に伎楽面（ぎがくめん）・猿田彦面（さるたひこめん）で、当時石工として有名な海老原源左衛門が奉納したと言われています。神面の数は九つで、この面を拝すれば工面（九面）がよくなるとのことで、拝観に訪れる人も多いです。また、工面がよくなるということから商工業者に信仰されて、屋号や商品などに使われています。



▲ 霧島神宮に保存されている九つの天狗面（一般公開はされておられません）



▲ 関平鉱泉水をプレゼントする霧島市長（左）と白鵬翔関（右）



▲ 市長表敬訪問風景



▲ 関平鉱泉水を飲んで・・・。白鵬翔関

『8回 霧島市誕生記念登山大会が開催されます!!』

霧島は、昭和9年3月16日に日本で最初の国立公園に指定されました。霧島山は「日本100名山」にも数えられており、平成26年3月16日に国立公園指定80周年を迎えます。この霧島の大自然の素晴らしさを実感し、多くの方に親しみを持っていただくため、霧島市誕生記念登山大会を開催します。



▲登山大会風景
日時=平成25年12月15日(日)

お歳暮のおすすめ

師走といえばお歳暮・・・何を贈るか悩んでいませんか!!

【お歳暮には関平鉱泉水をどうぞ!!】



▲ 関平鉱泉水 全国発送承ります。

「お世話になったあの方に・・・いつまでも健康であってほしいあの方に・・・」と、あなたの感謝と願いを込めて、関平鉱泉水をお歳暮にぜひお使いください。

商品	価格(税込・送料別)
20ℓボックス	1,000円
10ℓボックス	600円
500mlボトル	110円
2ℓボトル	230円

- ※ お歳暮用の「のし」も用意しておりますので、お気軽にお申し付けください。
- ※ お申し込み=Tel0120-235-524

年末年始の営業のお知らせ

関平温泉・鉱泉所の年末年始の営業を、下記のとおりお知らせいたします。

関平温泉	<p>【年内の営業】 平成25年12月28日 午後8時まで</p> <p>【年始の営業】 平成26年 1月 3日 午前9時より</p>
関平鉱泉所	<p>【年内の営業】 平成25年12月28日 午後5時まで</p> <p>【年始の営業】 平成26年 1月 3日 午前8時30分より</p> <p>※ 宅配で年内の到着をご希望の場合は、12月24日までにお申し込みください。</p> <p>※ 12/28~1/2のインターネット注文は1/3からの発送となります。</p>

関平鉱泉に関しての便りをご紹介します。

私は、胃の調子が悪く3年前から病院に通っていましたが、いつも胃が重くさし込む痛みもあり、食欲も無く体調がすぐれませんでした。私の胃の中には、沢山のヒロリ菌がいたのですが、薬が全く効かず毎日憂うつな気分で過ごしていました。

そんな時、鹿児島に住んでいる姉が心配して関平の水は、胃腸に良いからと言って送ってくれました。それから3ヶ月余り水を飲み続けて検査を受けたのですが、ヒロリ菌がゼロになっていてお医者さんがビックリしました。

今では、ご飯もおいしく、体調も良くなり感謝の言葉以外ありません。とてもありがたいです。関平の水を毎日、大事に大事に飲ませて頂いています。これからもどうぞよろしくお願ひします。

(北海道 80才女性)

※ 個人の感想です。
※ 薬事法に関する注意書き：この情報は、病気が『必ず』治るという話ではございません。あくまでもこんなことがあったという『情報』です。

編集者のひとりごと

月日の経つのは早いもので、今年も年末のご挨拶をさせていただき時期を迎えました。ちょうど一年前にも年末の挨拶を書かせていただいたのですが、まるで昨日のここのように感じられます。職員一同を代表しまして、顧客の皆さまに心より御礼申し上げます。年間を通じてのご愛顧、誠にありがとうございました。来る2014年に向けましては、現状に気を緩めることなく、業務のさらなる効率化や品質の一層の向上に取り組み、皆さまからのご期待に沿えるよう、最大限の努力をしていく考えです。来年も、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。それでは良い新年をお迎えください。